

品川 九条の会

NO.3 ニュース

連絡先

〒142-0053

品川区中延 5-6-14-2F

矢沢 宏之宛

Tel. 050-7503-6383

E-mail

info@9jo-shinagawa.es3.jp

2005.11.20

品川 平和の交流会が 開かれました

九条の会・品川は「品川平和の交流会」を10月12日、中小企業センター大会議室で開きました。当日は60名以上の方が参加、13団体から活動を報告して頂きました（大変短い時間で申し訳ありませんでした）。元気あふれる「高校生平和ゼミナール」の活動、20年を超える「平和のための戦争展」の息の長い活動、ギター演奏で盛り上げてくれた「品川区職員九条の会」などが様々な形で報告してくれました。また、九条の会、事務局長の小森陽一さんから連帯のメッセージをいただきました。（2面に全文掲載）品川で初めて行われた平和の交流会は参加者も勇気もらった元気のでる会になりました。（感想は3面に掲載）



8月に開かれた広島での高校生平和集会を中心に発表した品川高校生平和ゼミナールの高校生たち。当日会場で16655円のカンパが集まりました。

九条の会・品川では 偶数月の九日に 例会を企画しています。

九条の会・品川では、2ヶ月に1回、偶数月9日に例会を開催します。区内各地でビデオ鑑賞・読書会・学習会など憲法九条をテーマに会を催していきます。憲法九条に関心のある方はどなたでも気軽に参加できる形をつくっていきます。なお、参加費はすべて300円です。

第1回例会は2005年12月9日（金） 会場：荏原第5区民集会所

講師：立正大学教授 金子勝さん（九条の会・品川よびかけ人）

テーマ 「自民党の「改憲草案」で日本はどうなるのか」

お知らせ

第2回例会は2006年2月9日（木） 会場：未定

講師：ジャーナリスト 齊藤貴男さん

品川平和の交流会へ連帯のメッセージ

「九条の会」事務局長 小森陽一

「品川 平和の交流会」にお集まりのみなさんに、心から連帯のあいさつをお送りします。7月30日に3,000を越えた「九条の会」は、その後も全国で毎日のように産声をあげつづけています。

「9・11 小泉劇場総選挙」で自民党が圧勝したことに対する、危機感と怒りが、多くの人々に広がる中で、「九条の会」の会のあり方が変わってきています。

私自身が立ち会っただけでも、神奈川の箱根町では町長が、広島の日田市では市長が、「九条の会」発足の会であいさつをして下さいました。自治体の首長が党派や政治信条を越えて、なんとしても平和の現実的な支えである日本国憲法九条を選び直し、日々行使する運動に賛同してくださっているのです。

小泉政治が、言葉の意味を消し去って、単純なイメージだけで国民をだまして「戦争をする国」につき進むことに対して、武器も権力も金力をも持たない、一人ひとりの個人が立ち上がって来ているのです。

ブッシュ政権の言いなりに、自衛隊をイラクに派遣しつづけようとする小泉政権が、個人としての主権者のことを一切考えていないことは、日に日に明確になりつつあります。

カトリーナ・ハリケーンでニューオーリンズの人々が救出されなかったのは、州兵の多くをイラクに投入していたことも大きな原因です。「戦争をする国」は自国の国民の命は見捨ててしまうのです。

ブッシュ大統領が「悪の枢軸」と名指したユーラシア大陸の西のイラクは、泥沼の戦争状況です。けれどもおなじ「悪の枢軸」名指しされた北朝鮮は、「六カ国協議」という平和的外交交渉で、共同声明をあげて、解決の方向を探っています。それが出来るのは日本に憲法九条があり、日米安保条約に基くアメリカとの集団的自衛権の行使が出来ないようにしているからです。毎日毎日、刻一刻と憲法九条は、身体を張って、ユーラシア大陸の東側の平和を、現実的に守りつづけているのです。

世界第二位の軍事力になっている、自衛隊の武力行使も封印しているのです。

憲法九条は、わずか百数十の言葉です。けれども、この百数十の言葉が、現実的に日々アジアでの戦争を阻止しつづけているのです。

平和とは、争いを言葉で解決する、言葉を操る生きものである、ホモ・サピエンスが可能にしてきた人と人の関係、国と国との関係です。

平和とは、人が人の命を奪わない、人間社会のあり方です。

「九条の会」の運動は九氏のアピールを一言ひとこと、国々の人々に正確に伝える、平和の伝書鳩としての活動です。

平和をスローガンににせず、今日お集まりのお一人おひとりが本当に伝えたい言葉で、表現しつづけて下さい。

「九条の会・品川」賛同人を 広げる運動にご協力下さい。

11/15、賛同人は388人です。「九条」を守りたいと思っている方で、賛同人になっていらっしゃる方がたくさんいます。ぜひ、お声かけをよろしくお願いいたします。

品川 平和の交流会 感想文から (紙面の都合上3名の方の掲載)

です。ホームページにはすべての感想が掲載してありますので、ご覧下さい。)

楽しかったです。小森さんのFAX、素晴らしかったです。また、今後の活動に参加したいと思うような団体にたくさん会えました。これからは私たち若い世代が、社会を担う番だと思います。もっともたくさんの友達に9条を伝えていきたいです。決して9条をなくしてはならないと思います。

ステキな会をありがとうございました。
N.Y

今日は品川の中でいろんな方が“平和”の為に活動していることがわかり、心強く思いました。品川の中だけでもこんなに多くの取り組みがあるんですね。中国残留孤児の話をしている時も、みなさんがうなずきながら聞いてくれたので嬉しかったです。

品川在住ではないため、なかなか参加できなかったのですが、これからはできるだけ参加したいと思います。H.Y.

品川の中でいろいろな団体、個人が九条の会を作ったり、平和の取り組みをしていること、一人では小さな力を沢山集めれば大きなうねりになることを確信しました。平和をスローガンではなく、一人一人の言葉で語ろうという小森事務局長の言葉が身にしみました。

私の小さな力ですが、頑張っていきたいと思います。 M.S.

上田・無言館と松代大本営跡を見学 九条の会荏原地域



九条の会荏原地域準備会は11/12・13の両日、長野県上田市の無言館と松代大本営跡象山地下壕を訪れました。若くして戦争のために亡くなった芸術家の作品が展示してある無言館。戦争のむごさをしみじみと感じました。また大本営跡地下壕はほんの一部の公開ですが、その大きさに圧倒されるとともに、強制労働で酷使された人々にも想いを馳せました。

写真上
無言館玄関
写真左上下とも
松代大本営跡



『憲法九条・日本の宝』風車 南大井在住の高野さん制作

南大井5丁目の高野さんの家の玄関前に、いつも『憲法九条。日本の宝』と書いた風車が回っています。これは風力と太陽熱(ソーラー)で回るように工夫されたものです。

高野さんは、「みなさん、この風車で憲法九条を宣伝しませんか」と話しています。



南大井憲法九条の会(仮称)学習会を開催

10月21日、南大井地域の発起人10氏の呼びかけで準備会を開き、13名が出席しました。自己紹介の後、全員が今後この地域でどのような活動をしていくかについて発言。当面、憲法九条の意義をしっかり理解するために、学習会を開くことを決めました。早速、11月18日、南大井シルバーセンターで『日本国憲法の成立経過』をテーマに酒井廣さん(元NHKアナウンサー・南大井在住)を講師にしての学習会が行われました。参加者19名。元アナウンサーならではの話術で、楽しみながら憲法を学習することができました。次回は12月に高校生をよんで若者の憲法や平和への意識を聞く会を企画しています。

年賀状で「平和の想いや九条の大切さ」を伝えませんか。

最近では、メールに携帯となかなか筆をとることも少なくなりました。しかし、年賀状だけは欠かさずに出している方も多いと思います。この年賀状に「平和への想い」や「九条の大切さ」を書き記してみたいはいかがですか?いくつか文例をご用意しましたのでご利用下さい。

書き込み例

- ・憲法九条の平和主義こそ、人類の生きる道であることを訴えていくつもりです
- ・改憲を許さず、憲法九条を守り抜くためにがんばろうと思っています。
- ・憲法九条を守るために力をあわせてがんばりましょう。
- ・憲法九条は日本の宝、世界の宝、そして人類の英知の結晶です。

品川区内の九条の会の連絡先は

ホームページをご覧ください。

区内の職場・学園・地域・組合・サークルなどで続々と九条の会が立ち上がっています。ぜひ、お近くの九条の会へご参加ください。(事務局にお電話でのお問い合わせでも結構です)

メール登録のお願い

E-mail : info@9jo-shinagawa.es3.jp

ニュースや会議連絡、お知らせなどは随時、メールにてご連絡を差し上げます。経費削減のためにも、是非ご登録をお願いします。